

Smart AI Agent[®] 構想の具現化へ プライベートAI基盤から OpenCanvas[®] GPUaaSを提供



NTTデータが「Smart AI Agent[®]」構想の具現化に向けて、AIデータセンターの拡充とプライベートAI基盤の構築を進めています。さらに、独自AIモデル開発からAIエージェントの実装、AIアプリケーションの開発まで、フルスタックでサービスポートフォリオを拡充。2025年10月には、大規模機械学習向けに「OpenCanvas[®] GPUaaS」の機能を拡張して、サービスを開始しました。NVIDIA DGX SuperPODを大規模に導入し、国内トップクラスの計算量を誇るGPUリソースをソブリン性の高い国内データセンターから提供する革新的なサービスの実現に、NetAppのテクノロジーとサービスが貢献しています。



Smart AI Agent[®] 構想が切り拓く、企業変革の新次元

企業におけるAI活用の進展とともに、企業が持つ価値の高い情報を学習データに利用する「独自AIモデル/大規模言語モデル(LLM)」と、これを開発・活用するためのセキュアなプライベートAI基盤への期待が高まっています。NTTデータ テクノロジーコンサルティング事業部 統括部長の大久保康基氏は次のように話します。

「NTTデータでは『Smart AI Agent[®]』構想を掲げ、お客様の業務をプロセスレベルで改善し、チームや組織全体で飛躍的な生産性向上を実現する取り組みを進めています。Smart AI Agent[®] 構想が描く世界では、パーソナルなAIエージェントが指示に応じて自律的にタスクを組み立て、専門性を持った複数のAIエージェントと連携しながらお客様のワークフローを高度に自動化していきます」

ここで重要な点は、ユーザー企業固有の業務プロセスをAIエージェントが高い精度で自律的に実行するには、RAGの限界を超える「独自のAIモデル/LLM開発と追加学習」が欠かせないことです。大久保氏は、「AI活用の高度化とともにオンプレミスへのニーズが高まっている」と話しつつ次のように続けました。

「なぜなら、機密性の高いデータを安心・安全に扱ってAIモデル/LLMを学習させるには、セキュアなプライベートAI基盤が不可欠だからです。このニーズにお応えするために、私たちはプライベートAI基盤『OpenCanvas® GPUaaS』の整備を進め、2025年10月より大規模機械学習向けのサービス提供を開始しています」(大久保氏)

独自AIモデル/LLMの有用性に気づいている企業は少なくありません。しかし、機密データをパブリッククラウドで扱うことは自社のセキュリティポリシーが許さず、また、大きな投資を伴う学習用GPUサーバーを自前で導入できる企業は限られています。

「いかに外に出せないデータを扱えるようにするか、いかにコストを抑えながら強力な学習環境を整備するか——お客様を悩ませている2つの課題を『OpenCanvas® GPUaaS』が解決します。開発・学習フェーズと推論・活用フェーズで変化するGPUリソースへの要求にも柔軟にお応えすることができます。NTTデータは、高い性能、ソブリン性、柔軟性を備えたプライベートAI基盤『OpenCanvas® GPUaaS』を優れたコストパフォーマンスで提供します」(大久保氏)

顧客の経営課題をテクノロジーで解決

大久保氏が所属するテクノロジーコンサルティング事業部のミッションは、顧客の経営課題をテクノロジーで解決に導くこと。これを実現するために現在力を注いでいるテーマは、「AI基盤事業の推進」と「AIデータセンター戦略の強化」です。同事業部課長代理としてAIサービス企画を担う金本秀明氏は次のように話します。

「OpenCanvas® GPUaaSは私たちのAI基盤事業の中核サービスのひとつであり、その強みを支えているのはNTTデータグループが運営するAIデータセンターです。機密性が高くコントロール可能なAI基盤とAIデータセンターを利用できることは、日本のお客様にとって大きな安心・安全となるはず。私たちは、よりお客様価値の高いAIサービスをお届けするために、AIデータセンターの強みを活かしたサービスの拡充を進めています」

NTTデータグループは、データセンター運営企業として世界第3位のポジションを占めており、AIガバナンス/データセキュリティを確保しながら、顧客企業のAI活用を加速させることができる数少ないプレイヤーです。同事業部 主任の高木聡美氏は次のように続けます。

KEY BENEFITS

- NetApp AFF A90とONTAPにより、優れたストレージ性能とマルチテナンシーに代表される機能性を高度に両立
- GPUシステムとAI環境に精通したNetApp日本法人による技術支援、システムの稼働率を高める保守サービス



株式会社NTTデータ
テクノロジーコンサルティング事業本部 テクノロジーコンサルティング事業部
統括部長 大久保 康基氏



株式会社NTTデータ
テクノロジーコンサルティング事業本部 テクノロジーコンサルティング事業部
課長代理 金本 秀明氏



株式会社NTTデータ
テクノロジーコンサルティング事業本部 テクノロジーコンサルティング事業部
主任 高木 聡美氏

「パブリッククラウドとプライベートクラウドにはそれぞれ異なる強みがあります。パブリッククラウドは迅速な導入や柔軟なスケールが可能である一方、機密性の高いデータを取り扱う際のセキュリティ要件など、単独では対応が難しいケースもあります。NTTデータでは、こうした特性を踏まえ、お客様のニーズやAI戦略に合わせた最適なAI開発・活用環境を提供していきます」

OpenCanvas® GPUaaSの大規模機械学習向け基盤にNetAppが採用

OpenCanvas® GPUaaSの大規模機械学習向け基盤には、NVIDIA DGX SuperPODが国内屈指の規模で導入されました。最新のNVIDIA DGX B200システムとNetApp AFF A90からなるリファレンス構成をベースに、これをクラスター構成した大規模GPUシステムの誕生です。

「インフラ設計の基本方針は、NVIDIAのリファレンスアーキテクチャを採用し、最高性能を発揮するGPUシステムを、スピード感を持って実現するというものです。最新GPUであるNVIDIA B200の高い性能を引き出し、GPUシステムとしての使いやすさと両立させるNASストレージとしてNetApp AFF A90を選定しました」(大久保氏)

高性能オールフラッシュレイNetApp AFF A90は、大規模なデータセットを扱うAI学習・推論環境に求められるパフォーマンスと優れた耐障害性を実現します。ネットアップソリューション技術本部の柿元太郎氏は次のように話します。

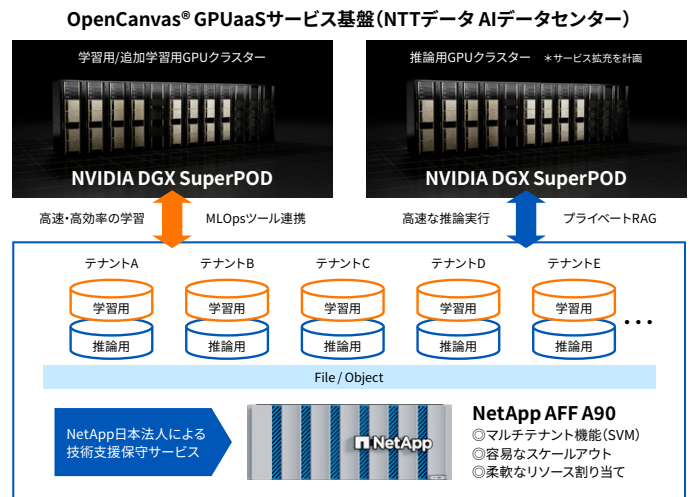
「NetApp AFF A90はNVIDIA DGX SuperPOD向け認証を取得しており、最上位のストレージ性能を発揮するモデルとして位置づけられています。厳しいパフォーマンス要件を高い水準で満たしながら、ONTAPストレージOSならではの優れた

データ管理機能、ONTAPのStorage Virtual Machine (SVM) によるマルチテナント機能をご利用いただけます。また、お客様ごとに独立したストレージ空間を提供するとともに、ネットワーク、認証、管理権限などを完全に分離して業界最高水準の堅牢なセキュリティ環境を提供します」

大久保氏は「NetApp採用の決め手はコストパフォーマンスの高さ」と話し次のように続けました。

「優れたストレージ性能とマルチテナンシーに代表される機能性を高度に両立できること、GPUシステムとAI環境に精通したNetApp日本法人による技術支援と保守サービスを受けられること——これらトータルでの価値の高さを評価しました」

2025年11月、この大規模機械学習向け基盤は、スーパーコンピュータ国際性能ランキング3部門「TOP500」「HPL-MxP」「HPCG」にランクインしました。



IOWN® ×最先端のAIインフラで実現する新しい未来

2025年10月にサービスを開始したGPU as a Serviceでは、すでに大規模な学習用途での活用が始まっています。

「機密データを扱うためのプライベートAI基盤として、NTTデータの提供するOpenCanvas® GPUaaSに注目しているお客様は数多くいらっしゃいます。AIモデル/LLMの開発ニーズに続き、これから数年のうちにAIエージェントのビジネス活用と推論処理のニーズが爆発的に拡大すると予測しています。私たちは、お客様のニーズを捉えつつ、学習と推論それぞれの用途でGPUリソースの割り当てを柔軟に変えながらサービス提供していく考えです。マルチテナント機能やKubernetes連携など、NetAppストレージの優れた機能が本格的に発揮されるのはこれからです」と大久保氏は話します。

NTTでは、次世代情報通信基盤「IOWN®」への取り組みを加速させており、すでに商用サービスとして占有型100Gbps回線サービス「APN IOWN1.0」を提供しています。NTTデータグループとNetAppは推進団体であるIOWN Global Forumに参加し実証実験に取り組んでいます。

NVIDIA B200の高い性能を引き出し、GPUシステムとしての使いやすさと両立させるNASストレージとしてNetApp AFF A90を選定しました。

株式会社NTTデータ 大久保 康基 氏

「超大容量・低消費電力・低遅延を実現するIOWN®のネットワークサービスは、データの置き場所や移動をより柔軟にし、AIデータセンターとAI基盤システムのアーキテクチャや運用方法を大きく変えていく可能性があります。NTTグループとして、いっそうお客様価値の高いサービス開発が可能になるでしょう」(金本氏)

AI活用の水準が企業の競争力を決める時代が、いままさに到来しています。そして、NTTデータグループは、「2027年度までに



NetApp AFF A90

生成AI関連事業においてグローバルでの年間売上3,000億円を達成する」という目標を掲げています。大久保氏は次のように結びました。

「NTTデータは、AI活用のコンサルティングを起点に、世界屈指の実績を持つAIデータセンターで最先端のAIインフラを稼働させつつ、独自のAIモデル開発、AIエージェント構築、AIアプリケーションの開発までフルスタックのサービスを提供し、お客様の多様なニーズにお応えしていきます。これらをトータルでご提供できるプレイヤーは非常に限られており、NTTデータの最大の強みであることは間違いありません。NetAppには、私たちのSmart AI Agent® 構想を、よりお客様価値の高いサービス、より豊かな世界として具現化するために、これからも力強い支援を期待しています」



[NetApp 製品について、詳しくはこちら](#)

NetApp product

・NetApp AFF A90



ネットアップ合同会社

<https://www.netapp.com/ja/forms/sales-contact/>

ネットアップはグローバルなクラウド戦略で業界をリードする、Data-Centricなソフトウェア企業です。企業や組織が独自のデータファブリックを構築し、クラウドでの開発、クラウドへの移行、オンプレミスでの独自のクラウドレベルの環境構築など、データセンターからクラウドまでのアプリケーションを最適な状態で実行できるシステム、ソフトウェア、クラウド サービスを提供しています。グローバル企業がデータのポテンシャルを最大限に引き出し、お客様とのコンタクトの強化、イノベーションの促進、業務の最適化を図れるよう、パートナー様とともに取り組んでいます。

詳細については、www.netapp.com/jpをご覧ください。



© 2026 NetApp, Inc. All rights reserved. 記載事項は、予告なく変更される場合があります。内容の一部または全部をNetApp, Inc.の許可なく使用・複製することはできません。NetApp、NetAppロゴ、SolidFireは、米国およびその他の国におけるNetApp, Inc.の登録商標です。その他記載のブランド・製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。